



行駆日二十月八

定價	金五
支局	金六
郵便局	金六
郵便局	金六
郵便局	金六

(刊休日翌日祭照日)

括華微笑

げ込んだ現ナマ

圓札を奪發。矢う、此處生死の境、男子の

帶に金もうるの縫の這人つ

言ふ順序で着席した。

張り有る處に一部どうあつても、格之助

腰帶、結綴にした髪に

得心させなければならぬ

くしく珠や金線やら

のちや、さ、それぢやに依

きらめかし、厚白粉の碧

の氣を揉み胸を痛

く光る口紅、しゃなり

づ様な朝だ

さつま、組みまessa手車手車

はつりてある

おどりたい様な朝だ

さつまのこすえで

海へどんぶりこの沈めませう

ことは出来ない。従つて必

つけこんで、その世紀末的

未練の濱行き臨

べき財源涵養

孟蘭盆は倒懸の

苦を救ふ供養。

めてゐるのに、た前は假に

と嬌態をつくつて練つて

はしからぬといふまでのこ

所に行つて製本すれば更に

五十錢の費用がかかる

ことである。

かくして、三千錢で購入される

即ちノート

かくする

ことである。

のである。

決済期の舊盆を前に 轉げ込んだ十一萬兩

内田前次官や鈴木代議士の幹部で

低資に有りついた湯本町

舊盆前に轉げ込んだ十一萬し幾人ぞ、而も正式の通水下で一種なごやかな雰囲氣

圓。湯本町が上水道工事のを目前に控へた湯本町は茲が漂つてゐる。

爲に起債した簡易保険局が許惠比須頭のオン・バレー

らの低利資金——鈴木代議士の斜旋により、前内田選

信次官の骨折りで決つた

が届いたのである。永い

これを目當てに支出の満

を持してゐた湯本町では恰

も良矣決済期のお盆に間に

合ふやう澎湃として押し寄

野、夏井、高久の片濱通り

の重要な道路であるが路面が

まし差當りの重荷を卸して

降雨時には直に氾濫し交通

ホツとした形であるが、上の支障甚だため産業開

之れが均苦を受くるもの蓋

發上是非共路幅を擴張し江

平月見橋から夏井村に至る

延長一里に亘る縣道は飯改むると同時に同道路中に

ケフ當局に事情を具す

此機に——と意氣込む平驛

十一本の臨時列車運轉

大賑ひの舊盆二日間

夏井街道改修を希望

夏井街に事情を具す

此機に——と意氣込む平驛

夏井街道改修を希望

此機に——と意氣込む平驛

夏井街道改修を希望

此機に——と意氣込む平驛

夏井街道改修を希望

此機に——と意氣込む平驛

夏井街道改修を希望

此機に——と意氣込む平驛

此機に——と